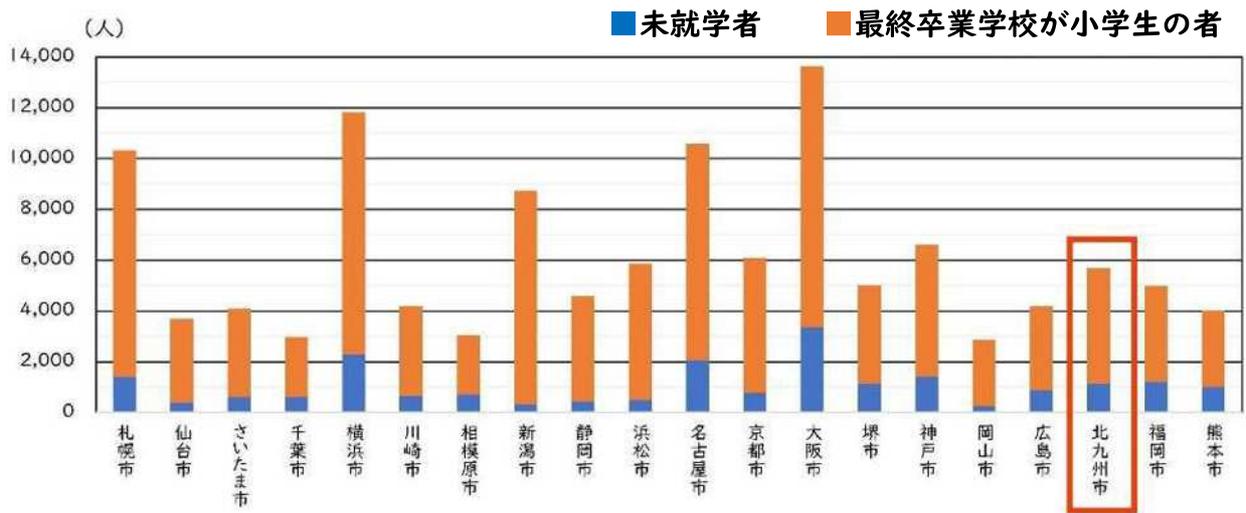


令和2年度国勢調査結果

国勢調査における未就学者及び最終卒業学校が小学生の者の数（指定都市別）



	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市
未就学者数(人)	1398	372	594	592	2276	638	712	311	423	483
人口に占める未就学者の割合 (%)	0.08	0.04	0.05	0.07	0.07	0.05	0.11	0.05	0.07	0.07
最終卒業学校が小学校の者の数(人)	8925	3316	3491	2371	9531	3553	2317	8405	4162	5383
人口に占める最終卒業学校が小学校の者の割合 (%)	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	1.2	0.7	0.8

	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市
未就学者数(人)	2045	763	3348	1130	1410	229	856	1131	1210	982
人口に占める未就学者の割合 (%)	0.10	0.06	0.14	0.16	0.11	0.04	0.08	0.14	0.09	0.16
最終卒業学校が小学校の者の数(人)	8523	5314	10285	3876	5187	2622	3326	4547	3779	3027
人口に占める最終卒業学校が小学校の者の割合 (%)	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.6	0.3	0.5

出典：文部科学省「夜間中学の設置・充実に向けた取組の一層の推進について（依頼）」を一部加工

(https://www.mext.go.jp/content/20220603-mxt_syoto02-100003094_3.pdf)

第 1 回北九州市公立夜間中学校を考える会議 要旨

- 1 開催日時 令和 4 年 5 月 13 日（金） 14 時 00 分 ～ 15 時 30 分
- 2 議題
 - ・国・他自治体・北九州市の取組について
 - ・「北九州市立夜間中学校」のあるべき姿について
 - ・今後の進め方について

3 会議経過

「国・他自治体・北九州市の取組」について事務局より説明。
自主夜間中学について構成員より補足説明。

「北九州市立夜間中学校」のあるべき姿について、構成員が意見を自由に発言。

(構成員の主な発言)

- ・交通の便が良く、バリアフリーのある校舎がよい
- ・一人一人に沿ったきめ細やかな対応のできる体制にしてほしい
- ・ニーズや年齢にあった教材や学習のサポートが大切
- ・養護教諭やカウンセラーが必要
- ・様々な背景の生徒が夜間中学に学びに来る
それらに対応するためには教員への研修が重要になる
- ・就学支援制度は必要
- ・自主夜間中学は、「自分を取り戻すための学校」にするために始めた
- ・学校の教室で、机で勉強をしたい
- ・昼間の中学生と交流ができれば、お互い刺激しあえる
- ・勉強を通して自分に自信がつくとよい
- ・学校行事を通して人間として育ててほしい
- ・国籍や日本語のレベルにかかわらず通えるとよい
- ・バスに乗れない人もいるので、通学バスがあるとよい
- ・文化祭や体育祭などを経験していない人が経験できるよう考えてほしい
- ・ICTに関する知識についても教える必要がある
- ・青春時代を取り戻す場所であってほしい
- ・卒業後も明るい姿を見せに来られる場所であるとよい
- ・就学年限は柔軟に考えてほしい
- ・夜間中学校を必要としている人が相談できるよう、広く知らせてほしい

第2回北九州市公立夜間中学校を考える会議 要旨

- 1 開催日時 令和4年7月1日(金) 14時00分～16時15分
- 2 議題 情報共有
 - ①文部科学省の動き
 - ②北九州市に夜間中学をつくる会の活動議事
 - ①「あるべき姿」の意見整理について
 - ②校舎位置・施設のあり方について
- 3 会議経過
情報共有に記載の2項目について事務局より説明したうえで、議事に記載の2項目について意見交換。

(構成員の主な発言)

議事①「あるべき姿」の意見整理について

- ・夜間学級に通う生徒は、「自分ができなかったことができる」、「自分の生き方を取り戻す」ことを大きな目標にしている
- ・夜間中学校で学びたい外国人の方は、日本語だけ学べたらよいのではなく、生活していく上で必要な日本語を理解するために通学するであろう
- ・現役の中学生が夜間中学に通うのは、問題点が多いのではないかと
- ・夜間中学で中学卒業レベルの学力をつけることは第一
加えて、自己肯定感を養い、様々な経験ができる場になるとよい
- ・夜間中学で改めて自分のことを知り、生き方についても学ぶ。教員もそれらをしっかり伝えていく場所になるとよい
- ・立地については、公共交通機関を使って無理なく登校できることが大事
- ・教室は専用教室にしていただきたい
- ・子どもたちが相談に行ったときに、カウンセラーとかソーシャルワーカーがいると同時に、相談を聞きやすい場所が確保されているとよい
- ・遠隔・オンライン授業ができるとよい

議事②校舎位置・施設のあり方について

- ・夜間中学校の校舎は、実際の中学校や小学校を使っていただきたい
- ・アクセス面は、多少駅から距離があってもやむを得ない
ただし、人通りも含めて、通いやすいところがよい

第3回北九州市公立夜間中学校を考える会議 要旨

- 1 開催日時 令和4年8月22日(月) 14時00分～15時30分
- 2 議題
 - ①設置に至る経緯について
 - ②校舎位置等について
 - ③機能について
- 3 会議経過
「設置に至る経緯について」について事務局より説明。
「校舎位置等について」、「機能について」事務局説明の後、意見交換。

(構成員の主な発言)

②校舎位置等について

- ・菊陵中は小倉駅から徒歩で通えるうえ、バスセンターにも近いのがよい
- ・菊陵中が帰国・外国人児童生徒教育のセンター校になっており、外国人の方たちにも知られている
- ・飛幡中は位置的に市の中心であり魅力的
校舎が新しい、廊下の幅が広い、多目的トイレが校舎内にあることもよい
- ・菊陵中、飛幡中で検討してほしい
その場合、1階にまとめるかエレベーターを検討してほしい

③機能について

- ・単独校の形態が、生徒に対してきめ細かい指導ができてよい
- ・入学を希望する生徒が相談にきたときの面談は丁寧にしていただきたい
- ・北九州市以外に在住の方の受入を検討いただきたい
- ・学校での学び方自体がわからない方もいると思うので、スクールソーシャルワーカーなどのほかに、学習のサポートをする人材がいると心強い
- ・学校給食は、一緒に物を食べ、元気になることができ、とても意味のある面もある一方、宗教上やアレルギーから一律実施が難しい面もある
- ・夜間中学は様々な経験をされた人が入学してくる
勉強だけ教えればいいのではなくて、生徒と一緒に生き、勇気づけ、教員自身もそこから学び、成長するような方を配置していただきたい

北九州市公立夜間中学校を考える会議 構成員一覧

区 分	氏 名	所 属 等	備 考
自主夜間学級 関係者	中川 いく子	穴生・中学校「夜間学級」運営委員会 運営委員	
	林 静一路	城南中学校「夜間学級」運営委員会 運営委員	
	和田 ケイ子	城南中学校「夜間学級」 生徒会長	
学識経験者	添田 祥史	福岡大学人文学部 准教授	座 長
フリースクール 関係者	緒方 香	星槎国際高等学校北九州学習センター 学習センター長	座長代理
高等学校 関係者	杉山 文雄	福岡県立小倉南高校 教諭	
外国人支援 関係者	矢野 花織	公益財団法人北九州国際交流協会 多文化共生ワンストップインフォメー ションセンター長	
青少年支援 関係者	村上 博志	子ども・若者応援センター「YELL」 センター長	
(市立) 学校関係者	安部 朋恵	北九州市立篠崎中学校 校長	
少年支援室 関係者	永田 和之	かなだ教育支援室 室長	

任期：令和4年5月13日～令和5年3月31日

北九州市立夜間中学校設置基本計画（素案）

北九州市教育委員会総務部企画調整課

〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号

（小倉北区役所庁舎東棟6階）

電話 093-582-2357 FAX 093-581-5871

メール kyou-kikaku@city.kitakyushu.lg.jp

ホームページ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/index.html>



QRコード
（ホームページ）